

経費をかけても社内一斉にIT導入

大阪府松原市で訪問介護ステーション、整骨院、鍼灸院を経営する有限会社SCC大阪は、訪問介護事業において、訪問業務中に生じる隙間時間や、手書き入力による介護記録や帳票の作成の手間など、非効率な業務をなんとかしたいと考えていた。そのようななか、税理士法人が主催する勉強会に参加し、ITで業務効率化できた事例発表を聞いたことがきっかけで、IT導入を本格的に検討することとなった。

IT導入で効果があった同業企業の情報収集を重ね、社長がITの必要性を社員一人一人に丁寧に説明することでIT導入を進めていった。今では社員が積極的にITの活用方法を提案する良い文化が生まれた。

導入したITツール

- 「ビジネスコミュニケーションチャット」：社員間のコミュニケーションの円滑化（従来は張り紙での情報共有）
- 「クラウド会計ソフト（給与明細）」：会計・給与業務の効率化
- 「介護業務管理ソフト」：タブレットを活用した介護記録や帳票の手書き業務の効率化

IT導入のここがポイント！

社長のリーダーシップにより、現場社員への丁寧な説明を徹底

社長が社員一人一人と1ヶ月かけて面談を行い、ITの必要性やIT化による職員の待遇への反映について、丁寧に説明した。IT導入後は、チャットを利用して社長が全社員に毎日メッセージを発信し、社長の思いを伝えるなど、社内のコミュニケーションを大事にしている。

社員が楽しみながらIT化に取り組む

60代のベテラン社員が積極的に楽しみながら取り組んだことで、周りの社員も触発されて社内でのIT活用が進んだ。ITに慣れることでチャレンジの気持ちも社員にも芽生えており、今ではチャットで社員間の連絡を取り合い、独自の工夫を行いさらに業務効率化が進むようになった。

ITは必要経費と認識し、社内で一斉導入

予算の都合で段階的に導入してしまうと、社員間でIT化への温度差が生じてしまう。そのため、IT導入コストは必要経費と認識し、他の経費の削減努力を行うことで、全社員分のタブレット・スマートフォンを導入し、全員が一斉に使用する環境を整備した。



社員同士で効果的な使い方を議論



社員も楽しみながらITを活用

IT導入の効果

- 月末の残業時間を削減。
- 1月あたり8～9休を確保できるようになり、有給休暇も取得できるように。
- ペーパーレス化により、用紙代・コピー代を削減や、書類を探す時間も不要に。
- 業務効率化で利用者と接する時間が増え、提供サービスの質が向上。

【企業概要】

・ 企業名：有限会社SCC大阪
・ 住所：大阪府松原市上田2-1-3 2丁目五島ビル

・ 電話番号：072-335-6249
・ URL：<http://scc.osaka.jp/index.html>